

～ 呂国娟さんからのメッセージ ～

私の出身は中国の河北省で、現在、桜美林大学で精神保健福祉を学ぶ留学生です。11月に「NPO法人支え合う会みのり」の活動に参加し、多くの学びを得ました。活動では、高齢者の方々との交流や調理、文化的なイベントを通じて、地域福祉の重要性を深く感じました。

特に印象的だったのは、手作りの箸袋やお弁当を準備する際の協力体制です。ボランティアの皆さんが役割を分担しながら進めていく姿は、まさに支え合いの精神を体現していました。完成した料理や飾り付けを見た参加者の笑顔からは、心温まる交流の輪が広がっているのを感じました。

また、活動を通して、地域のつながりが高齢者の安心感や幸福感を支えていると実感しました。

将来的には、日本で学んだ知識と経験を活かし、言語教育や福祉の分野で他者を支える仕事に携わりたいと考えています。

今回の活動は、私自身の成長にもつながる貴重な機会でした。

これからも、地域や人々を支える活動に積極的に参加していきたいと思います。

市民協働研修への参加報告



地域振興プラザにて 11/14 (木)



若手職員と在職5年目の職員、約20名を対象に行政と市民との立場による違いを実感し、「協働」とは何かを考える研修が市の主催で開催されました。

今回は、一日の研修となりましたが、支え合う会みのりは、稲城市内で活動している団体の代表として参加し、地域住民同士で支え合う食事サービス事業の大切さや必要性を話しました。

行政の方々には、現場（利用者が元気に社会参加でき、ボランティアも元気に活躍できる居場所）を見学して参加もしていただきたいこと、行政としてボランティアの価値観や満足度の上がるイメージを広報して欲しいことをお願いしました。

今後もこの研修が現場の視察を含み、お互い「協働」に向けて意見交換できる会合となるよう期待します。

理事長：吉川 ひとみ

